

# 人間科学部

## 多元心理学科

No.	テーマ	内容	教員名
116	ポジティブ心理学のすすめ	ポジティブ心理学という言葉を知っていますか？最近、注目されている心理学の新しい分野です。臨床心理学などの分野では、悩みやうつなどのように人間の弱い部分や症状に注目して、それらの克服や改善を目的としています。ポジティブ心理学では、あきらめない心や楽観的な態度などのように人間の強い部分に着目し、人生をより豊かに元気に生きるにはどうしたらいいかを考えます。この授業では、このポジティブ心理学の概要について簡単に説明します。	安藤 玲子
117	「働くこと」を考える	突然ですが、質問です。皆さんは、なぜ働くのでしょうか。あるいは、どのくらい将来就きたい職業が決まっていますか？もしかしら今 皆さんが目指している仕事は、10年・20年前にはなかったものかもしれません。同じように消えていく仕事もあるかもしれないのです。この授業では、こうした変化の早い社会を前提として、目先の「就職」についてではなく、人生や生活の中で働くことをどう意味づけ、仕事やそれ以外の生活も含めて自分の人生を長期的視野からどのように作り上げていくかについて、心理学の視点から考えてみたいと思います。	石津 和子
118	心の回復と自己表現	心理的援助にはいろいろな方法があります。どんなところが共通しているのでしょうか。心理的援助に共通していることについて考え、また自己表現をすることがどのように心の回復に関係しているのかを学びます。	今村 友木子
119	消費社会の光と影 —借金の社会心理学—	キャッシングやクレジットは私たちの生活のあらゆる場面に浸透しています。ところが、多額の借金を抱えて返済できなくなる人も毎年たくさんいます。こうした社会現象に、社会心理学という手法を用いて接近すると何が見えてくるのでしょうか。多重債務に陥る心理メカニズムを、具体例を交えて読み解くとともに、現代社会において安心、安全に過ごすためのルールづくりについて解説します。	大山 小夜
120	不正をおかすのはどんなとき？ —犯罪の社会心理学—	人はどんなときに犯罪に手を染めてしまうのでしょうか。アメリカのある犯罪学者がインタビュー調査に基づいて明らかにした「不正のメカニズム」は、現在、世界各地の企業等による不正対策に採用、応用されています。授業では、このメカニズムに基づいて、犯罪をおかす側の心理を疑似体験し、その防止策を考えてみます。	加藤 大樹
121	表現の中に見つける自分らしさ	人は、言語を使ったコミュニケーション、非言語のコミュニケーションなど、様々な形で自分の気持ちやメッセージを外部に発信しています。臨床心理学の分野でも、言葉のみでなく、描画や造形など、表現を通してその人らしさを理解しようという試みが行われています。身近な表現を通して、自分らしさに目を向ける機会を一緒につくってみませんか？	川瀬 正裕
122	こころの健康と自己理解	現代社会はみんな忙しくしてストレスの多い環境だといわれています。そして、心の元気が保てなくなってしまう人も増えています。特に、青年期はもっとも不安定な時期ともいわれていて、こころの健康は重要な課題となります。そのこころの健康を支えるひとつとして、自己理解があげられます。この授業では、心理学的な視点から自分を見つめ直してみたいと思います。	北折 充隆
123	人間関係を上手くやるコツ教えます —対人魅力の心理学—	人間関係に悩む人が近年増加してきています。友達ができないと言って悩む生徒さんも多いのですが、ちょっとしたコツであなたを取り巻く評価を大きく変えることもできます。人は他人のどんな所に魅力を感じ、どんな風に関係が作られていくのでしょうか。本授業では良好な関係を作っていく上で重要な、知っておくと良いちょっとしたヒントをお教えしたいと思います。	

金城学院大学 2024出前授業

124	こころを病むとはどういうことか	精神医学は精神の異常を扱う学問です。しかし、ひとのこころや思考、感情はその人独自のものであり、本来千差万別のはずです。その精神を病むというのはどういう状態をいうのか？偉大な芸術家はしばしば亡くなった後、精神医学の分析の対象となってきました。一端をご紹介します。	定松 美幸
125	「こころ」はどこに？	人間の脳をいくら細かく調べても「こころ」はみつきません。「こころ」は主観的なものですから、その存在らしきものは、そのひとにしかわかりません。現在の脳科学は、この「こころ」をどこまで客観的に取り出せているのでしょうか？	鈴木 正隆
126	人生100年時代のキャリア開発	2007年に日本で生まれた人の半数が107歳まで生きるという予測があります。例えば、勤めている会社の定年を65歳で迎えても、40年以上の人生が残されているわけです。また、産業構造や働き方自体も急激に変化しています。10数年後の仕事の仕方は今は大きく異なっているかもしれません。このような予測不能な世の中で長い人生を幸せに送るためには、どのような考え方や力が必要なのかを、キャリア理論の紹介やアセスメントを通して考えていきましょう。	鶴田 美保子
127	人との付き合い方、 「自分」との付き合い方	友達との関係は青年期には誰にとっても大切なものです。でもうまくいかない、けんかになった、という場合、その関係をどう考えればいいのでしょうか。ひょっとして、その背景には「自分自身」を自分がどうとらえているかが関わっているかもしれません。また、「他の人とは違う自分」をどう受け止めればいいのでしょうか。自分を知って、相手との関わり方を考えてみましょう。	仁里 文美
128	心理学とはどのような学問なのか ：心の働きを推測する 《8月まで開講》	心理学とは心の働きを明らかにすることを目的とした学問です。しかし、心とはそもそも目にみえるものではありません。心理学者は目に見えない心の働きを解明するのにどのような方法を用いて研究しているのでしょうか。授業の中で実際に簡単な課題を行うことを通して、これらの点について考えてみたいと思います。	野田 理世
129	みつめてみよう 私のこころ	「カウンセリングってどんなことをするの？」と、昨今、カウンセリングへの関心が高まっています。カウンセリングってなんでしょう？また、カウンセリングを学ぶにはどういうことをするのでしょうか？この授業ではカウンセリングや臨床心理学について紹介し、こころをみつめるワークを体験してもらいます。他者を理解し、尊重するカウンセリングには、自分のこころをみつめる作業がとても大切なのです。自分の一面に気づき、周囲への理解が深まる機会になればと思います。	二村 彩
130	音楽の心理学	音楽には色々な働きがあるのを知っていますか。例えば、音楽を聴くと唾液中に示されるストレスの成分が減少するという研究があります。他にも、身体運動を促進する働きやコミュニケーションを促進する働きなどがあるとされています。このような様々な音楽の働きを生かして、健康の維持、発達の援助、障害や疾患の回復や改善のために行われるのが音楽療法です。音楽の心理学的な働きについて学んでみませんか？	渡辺 恭子

※ 授業は約50分を予定しています。

【お申込み・お問い合わせ】

金城学院大学 入試広報部

電話：0120-331791 e-mail：nyushi@kinjo-u.ac.jp



本学「受験生応援サイト」